

2 平成14年度からの繰越状況

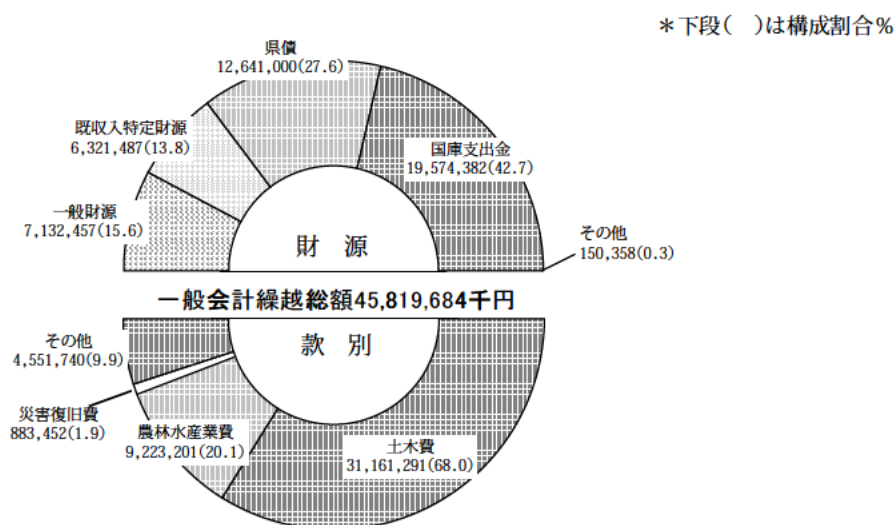
予算の繰越しとは、経費の性質上または予算成立後の諸般の事情により年度内に事業が完了しなかったため、予算を翌年度に繰越して使用することです。

予算の繰越しには、主なものとして、1つは予算の経費の性質上、又は予算成立後の事由により当該年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、翌年度に限り繰越して使用することができる繰越明許と、もう1つは年度内に支出負担行為をし、避けがたい事故のために年度内に支出を終わらなかったものを翌年度に繰越して使用する事故繰越があります。

平成14年度からのこれらに該当する経費は、表22、図37のとおり、一般会計で繰越明許が約457億円、事故繰越が約1億1千万円、また、特別会計で繰越明許が約79億円あり、これらの総額は約536億円となっています。

図37 平成14年度一般会計予算繰越の構成

(単位：千円)



(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

表22 平成14年度からの予算の繰越状況 (一般会計・特別会計)

(単位：千円)

区 分	繰 越 額	左 の 財 源 内 訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一 般 財 源
繰越明許合計	53,568,592	8,012,113	38,449,348	7,107,131
一般会計小計	45,714,353	6,255,874	32,351,348	7,107,131
総務費	753,386	82,480	506,000	164,906
民生費	908,712	683	697,008	211,021
衛生費	1,471,046	651,670	59,717	759,659
農林水産業費	9,223,201	1,312,238	7,243,887	667,076
商工費	78,000	78,000	0	0
土木費	31,161,291	4,017,803	22,347,202	4,796,286
警察費	69,494	18,000	25,500	25,994
教育費	1,165,771	95,000	598,387	472,384
災害復旧費	883,452	0	873,647	9,805
特別会計小計	7,854,239	1,756,239	6,098,000	0
港湾整備事業	336,780	780	336,000	0
流域下水道事業	7,517,459	1,755,459	5,762,000	0
事故繰越合計	105,332	65,614	14,392	25,326
一般会計合計	105,332	65,614	14,392	25,326
衛生費	97,379	62,963	14,392	20,024
土木費	7,953	2,651	0	5,302
合 計	53,673,923	8,077,726	38,463,740	7,132,457

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)